



弘前アップル RC 週報

Weekly Bulletin of Hirosaki Apple Rotary Club

例会日時: 月曜日 19 時 例会場: 弘前市総合学習センター

会長 山本周平 幹事 菊池 勲

2012 年 7 月 3 日
第 1 号

2012-13 年度 RI テーマ

RI 会長 田中作次

地区ガバナー

松本康子

奉仕を通じて平和を！

Peace through Service

今月予定

7 月 9 日(月)

通常例会 クラブ協議会

7 月 16 日(月)

E 例会

7 月 23 日(月)

通常例会

外部卓話

「東日本大震災とロータリーと私」(秋山現信様)

7 月 30 日

休会



新年度第一回例会が開催されました

新年度最初の例会が行われました。この日は山本会長が職業奉仕のため不在だったので、坂本大輔会長代行によって開会点鐘が鳴らされました。このゴングは、スポンサークラブの弘前西クラブからいただいたものです。また、正面には、もう一つのスポンサークラブの弘前クラブからいただいたクラブ旗が飾られ、雰囲気は最高でした。本日の例会は、6月23日に行われた RI 認証状伝達式と懇親会(いわゆるチャーターナイト)の感想および反省を個々の会員から述べてもらいました。そしてその反省点を、今後の 5 周年記念式典、10 周年記念式典に生かそうということになりました。

各会員からお一人ずつチャーターナイトの感想と反省点を述べていただきました。

「受付業務がスムーズに行かなかった」「しっかりした名簿を作っておくべきだった」「リーダーシップをとる人間をもっと多く配置すべきだった」「ヘルプに来てくれた弘前クラブと弘前西クラブ会員への受付業務の説明が不十分だった」「座席表が不十分だったのでうまく案内できなかった」「アリソンの写真展では感激的なシーンがあった」「時間がもう少しあればもっとうまく準備ができたと思うが、その時間がなかったのが残念」「皆初めてのことだったが、それなりにうまくいけたのではないか」「日本の各地からあんなに多くのロータリアンが参加して下さって、ロータリーの素晴らしさを思い知らされた」「準備にほとんど参加できなくて申し分けなかったが、その分、当日出来るだけのことをしたつもりだ」

最後に開場特別代表が、「皆さん本当に良くやって下さいました。全会員がそれぞれの場で一生懸命やって下さった結果、あのような感動的なチャーターナイトになったと思います。どのお1人が欠けてもあのような成功に結びつきませんでした。岐阜の服部 PDG が『この1年間で3つのチャーターナイトに参加したが、今夜が最高だった。会員お一人お一人が生き生きと楽しんでいました。私も楽しかった』とおっしゃっていました。本当にお疲れさまでした」と、高い評価と労いの言葉で締めくくられた



7月23日例会の外部卓話者のご紹介

23日の外部卓話者、秋山現信さんは水戸 RC 会員で、開運寺ご住職です。10年前に水戸で行われたロータリーのセミナーに講師としておジャマした時に、JRICの会員同士だったことでセミナー後にいっしょに飲んだことが最初の出会いでした。その柔和な笑顔、人を包み込む優しい心。素晴らしい人との出会いに心躍る思いでした。昨年3月11日、ご自身も大きな被災をしました。しかし彼は福島、宮城、岩手の被災地へ自分の車に救援物資を積んで被災地の救援に出かけました。その救援活動は今も続けられています。詳細は彼のホームページをご覧ください。 <http://www.rainbow-dolphin.jp/>

(開場慶博記)

